

## 教育現場を通じ 防災意識向上へ

名古屋でシンポ

防災意識の向上と防災教育の促進を目指すシンポジウムが名古屋市中村区の名古屋国際センターであった。学校関係者ら二百人が参加した。

国土交通省中部地方整備局が主催。「地域に根ざした防災教育を推進するために」をテーマにしたパネルディスカッションでは、大学教授や小学校校長ら六人がパネリストとして登壇。

このうち愛知教育大の伊藤貴啓教授は「防災教育での一番の課題は、子どもたちが災害を『わが事』として捉えられるかどうかだ」と指摘。「子どもたちが身近な地域で(災害時に)何が起



防災教育のあり方について話し合う関係者ら＝名古屋市中村区の名古屋国際センターで

こるかを想像できるような教えることが必要だ」と述べた。ほかに伊藤教授による講演や、地域と学校が連携して取り組む防災教育の事例発表などもあった。